

令和2年度 農作物病虫害発生予察12月月報

令和3年(2021年)1月4日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
12.1	7.4	8.2	△ 0.8	14.6	13.8	0.8	2.0	3.6	△ 1.6
12.2	6.7	7.4	△ 0.7	14.0	12.9	1.1	1.3	3.0	△ 1.7
12.3	6.1	6.7	△ 0.6	11.2	12.0	△ 0.8	2.5	2.4	0.1
12.4	3.3	6.1	△ 2.8	8.5	11.4	△ 2.9	-1.1	1.9	△ 3.0
12.5	5.1	5.8	△ 0.7	10.3	11.1	△ 0.8	0.3	1.5	△ 1.2
12.6	5.3	5.3	0.0	11.6	10.6	1.0	0.0	1.1	△ 1.1
平均・計	5.7	6.6	△ 0.9	11.7	12.0	△ 0.3	0.8	2.3	△ 1.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
12.1	0.0	12.4	△ 12.4	34.4	22.0	12.4			
12.2	0.0	11.4	△ 11.4	23.3	21.3	2.0			
12.3	0.5	9.9	△ 9.4	17.9	20.5	△ 2.6			
12.4	0.0	8.7	△ 8.7	23.7	20.0	3.7			
12.5	5.0	8.0	△ 3.0	23.3	20.0	3.3			
12.6	29.5	10.2	19.3	27.1	23.9	3.2			
平均・計	35.0	60.6	△ 25.6	149.7	127.7	22.0			

II 作物の生育状況

(1) キャベツ : 生育は順調で、出荷品はやや大玉傾向。11月上旬から出荷が始まり、11月下旬から本格的な出荷となっている。

(2) イチゴ : かおり野は1番果が11月下旬から徐々に出荷が始まり、12月下旬から1月にかけて出荷盛期。2番果は開花から肥大期。連続して出蕾しているハウスもあり、1月の出荷量は増加する見込み。

III 病害虫の発生状況

1 普通作物

2020年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ (収穫物被害調査: 20ほ場) 紫斑病	発生ほ場率10.0%(平成24.3%)、発病粒率0.0%(平成0.4%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 83
べと病	発生ほ場率0%(平成34.3%)、被害粒率0%(平成0.5%)で平年に比べ少なかった。	—	—
サヤムシガ類	発生ほ場率30.0%(平成28.1%)、被害粒率0.2%(平成0.3%)で平成並みであった。	県内全域	少 249
シロイチモジマダ ラメイガ	発生ほ場率5.0%(平成10.5%)、被害粒率0.0%(平成0.2%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 41
マメシンクイガ	発生ほ場率20.0%(平成13.8%)、被害粒率1.0%(平成0.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 41
			少 124
			計 165
フタスジヒメハムシ	発生ほ場率80.0%(平成90.7%)、被害莢率3.8%(平成14.2%)、被害粒率1.6%(平成3.8%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	中 290
			少 373
			計 663
吸実性カメムシ類	発生ほ場率70.0%(平成72.9%)、被害粒率2.7%(平成5.1%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 207
			少 373
			計 580

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数: 中旬11、下旬8) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成5.0%)、発病株率0%(平成0.5%)、発病度0(平成0.1)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成6.5%)、発病株率0%(平成0.4%)、発病度0(平成0.1)で平成並みであった。	—	—
菌核病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成11.9%)、発病株率0%(平成0.4%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成19.3%)、発病株率0%(平成0.8%)で平年に比べやや少なかった。 山口市の巡回調査ほ場の番外で発生が認められた。	県内全域	少 1
べと病	中旬の巡回調査では発生ほ場率18.2%(平成3.4%)、発病株率3.5%(平成1.3%)、発病度0.9(平成0.3)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5%(平成1.3%)、発病株率2.8%(平成1.3%)、発病度0.7(平成0.3)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 30

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ 萎黄病、軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年22.4%)、発病株率2.8% (平年2.4%)、発病葉率0.8% (平年0.7%)、発病果率0.1% (平年0.3%) で平年並みであった。	県内全域	中 5 少 10 計 15
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.5%)、発病株率0% (平年1.2%)、発病果率0% (平年0.3%) で平年に比べ少なかった。 下関市の巡回調査ほ場の番外で発生が認められた。	県内全域	少 1
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (前年0%)、発病株率0.0% (前年0%) であった。	県内全域	少 5
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (前年5.0%)、発病株率0.9% (前年0.1%) であった。	県内全域	少 20
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年24.1%)、寄生株率4.9% (平年2.0%) で平年に比べやや多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 31
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年34.9%)、寄生株率14.9% (平年11.2%) で平年に比べやや多かった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 10 少 41 計 51
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年33.2%)、寄生株率0.2% (平年5.6%) で平年に比べ少なかった。 主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少 10
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.3%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年7.5%)、寄生花率0.1% (平年0.4%) で平年並みであった。発生種はヒラズハナアザミウマ、ハナアザミウマであった。	県内全域	少 5
オオタバコガ、シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では発生は認められず、平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所
TEL (083) 927-4006
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp